

ヒロキとユウヤのおばけ池のぼうけんは、  
とても楽しそうでした。私もやってみたい気  
持ちもあるけれど、夜は本当のおばけが出て  
きそうで怖いので、ちよつとムリです。昼  
間に友達となら行けると思います。

夏休みに家族で川に行つて、小魚2ひきと  
アマエビもぴきつかまえました。今は家の小  
さな水そうでかっています。アマエビの動き  
がかおいくて見ていてあきません。

私たちの町は、日本で初めてFSC、AS  
Cのどちらにも登録されてゐる、とても自然  
ゆたかな町で志津川おんは、里しあ、親しお、  
津軽だん流がまざり合う、めずらしい海です。  
そのため温かい海の生き物と冷たい海の生き  
ものがいっしょに生息しています。またFSC  
Cの山の川から流れる植物プランクトンに  
よつて藻や海の生き物が大きく生成して、国  
の天然記念物でせつめつきぐ種のコクガンが  
飛来します。二〇一八年一月にラムサール  
じょう約しつ地に登録されました。

私はこの所で南三陸小年小女自然調査隊という海や川、森などを調べて守っていく隊員として活動しています。海ではひ潟の生物調査やスノーケリング海中観察、漁船に乗って着しよく体験、森林ではFSCにんしよう林に行くと山を管理することの大切さや海と山の関係について教えてもらいました。またいつか、イヌワシがもどってこられるように森林を守っています。

今年の八月には、町を流れる八まん川の生

物調査をしました。志津川高校自然科学部のお兄さんお姉さんたちと、たくさんの虫や魚をとりました。ウキゴリ、アユ、アマチチブなどの魚の中に、ニホンウナギのち魚が十匹くらいとれました。ニホンウナギはせつめつのおそれがある生きもの。ツドリストレだよと教えてもらいました。その他にドジョウや虫のヒメサナエ、貝のヒラマキがイモドキというレツドリストもとれました。十一月には、サケのつかみ取り体験があり

ます。放流したち魚が大きくなって帰ってきます。町にはサケのふ化場が二カ所あって、毎年ふ化させて放流しています。とても楽しめです。

私の住んでいる南三陸町は、二〇一一年の東日本大しんさいで大きな被害があった町です。あの日の津波ですべてをなくしました。でも町のみんなはあきらめずに、森も里も川も海も元にもどそうとがんばってきました。そのがんばりのおかげで、ゲンジボタルやニホンウナギのち魚がもどってきました。私も町のみんなといっしょに、この自然を守っていきたいです。そしていつか私の子どもが、大きくなったらうなぎをヒロキとユウヤみたいにつり上げてほしいと思います。